

償いのメッセージ

飲酒運転で検挙された人、飲酒運転で事故を起こした人の反省、後悔などが込められた手記を紹介します。

- 飲酒事故により死刑勧告を受けたぐらいの責任の重さを感じました。5年経った今も、私の人生は、飲酒事故を起こす前の生活に戻っていませんし、今後、戻れないかもしれません。
【36歳・男性】
- 飲酒運転をしたことにより、仕事を失う・高額な罰金による出費・運転免許証の取消・運転免許証再取得時の出費（約30万円）などの経験をしました。 【59歳・男性】
- 人生が変わった。大事な家族を失い、死にたくなかった。免許証1枚でこんなに人生が変わるとは思わなかった。二度とこんな思いはしたくない。過去は変えられない。
【28歳・男性】
- お酒を飲んで運転することがどれだけ危ないことだったのか反省させられました。テレビ等で飲酒運転の罪の大きさは分かっていたものの、自分は大丈夫だろうと思っていたことが情けなく思います。事故を起こさなければ大丈夫と思っていました。
 今後は、飲む時には車を必ず置いていき、事故等を起こしたときにどれだけ多くの人に迷惑等がかかるのか常に考えます。友達との間でも飲酒運転の危険性を話題にし、私と同じような行動をさせないように、気をつけていきたいと思います。 【35歳・女性】
- 息子が高校に入学し、部活で朝が早く、本来なら車で送ってあげなければならなかったのに、それが全くできませんでした。家族で買い物や食事等にも行けなかったし、息子の野球の試合も思うように見に行けずに、子どもにたくさんの迷惑をかけました。飲酒運転をすることは、自分の勝手な行動で、たくさんの人に迷惑をかける行動であり、いろいろな人の人生を狂わせる行為だと実感しました。 【45歳・女性】
- 仕事も変わり、収入も半分以下になり、家族とも会話が少なくなった。飲酒運転がいかに悪いことなのかよく分かりました。免許取消しとなる前は、飲酒運転に対して、捕まらなければ大丈夫という安易な気持ちがあったかもしれない。
 しかし、これからは、飲酒運転は絶対やってはいけないし、また、飲酒運転をする人がいたら必ずやめさせなければならない。また、お酒を飲むときは車で行かないようにし、少しでも前日のお酒が残っているようであるならば車には乗らないようにする。今後は、お酒をなるべく飲まないように、今からの人生のため、体のために心掛けるつもりです。
【48歳・男性】